

平成26年11月20日

サニーヘルス株式会社  
代表取締役社長 西村 峯満 殿

公益社団法人 全国消費生活相談員協会  
理事長 吉川 萬里子



## ご 連 絡

貴社製品の「ブルーベリー300倍パワー」に関しまして、本協会からたびたび申入を行って参りました。またその都度、貴社から迅速な対応をいただいているところであり、この点については本協会としても一定の評価をなしているところです。先日も、貴社HPに記載されている「エラグ酸の含有量比較（果実100gあたり）エラグ酸300倍」の根拠となる論文の出典先である「J. Agric. Food Chem. Vol.50, No.12.2002,」「J. Agric. Food Chem. Vol.50, No.8.2002」について和訳をいただきました。

そこで本協会は、貴社が論拠としているこれらの論文の当否について検証した結果、同論文自体に疑義はないものであることを理解致しました。

しかしながら、看過できない問題もありましたので、それらの問題点を下記に示した上で、貴社のご見解を確認したく、本書面をお送りします。

①ポリフェノールの中で、エラグ酸を選んだ理由についてお教え下さい。

(理由)

エラグ酸の効能は未だ実証されておらず、またポリフェノールの代表種であるとも言えないことから、エラグ酸を選択してポリフェノールの含有量比較の対象とするのは適切ではないものと思われまます。

②ブルーベリーのエラグ酸検出量の中であえて低い数値を基準とする理由をお教え下さい。

(理由)

貴社からいただいた論文からすると、貴社が「エラグ酸が300倍」と決めたのは、検出された中でブルーベリーからの検出量が1番低いものと、エラグ酸の含有量が多いボイセンベリーをあえて取り上げて比較されたからのように思われます。平均値をとれば、とても300倍という数値は得られません。そうしますと、「300倍」という表記そのものに疑義が生じますが、仮に貴社において数値選択に合理的な根拠があるとお考えであれば、その根拠をお教え下さい。

③ブルーベリーとボイセンベリーの「ポリフェノール」全体量での比較データをお教え下さい。

(理由)

上記でも触れましたが、エラグ酸の効果は実証されておらず、またエラグ酸を抜き出すよりも、ポリフェノール全体量を図る方が遙かに容易であると聞いておりますし、そうであれば尚のこと、

ポリフェノール全体量を量る方が合理的と思われます。

そこで、さらなる検証の資料とするため、ブルーベリーとボイセンベリーのポリフェノール全体量での比較データがあればお示し下さい。

以上、3点につき照会致しますので、平成26年12月22日までにご回答くださいますようお願い致します。

なお、本「ご連絡」並びに貴社からのご回答の内容は、消費者契約法27条に定める消費者に対する情報提供の一環として、本協会において公表することを申し添えます。

以 上

(本件に関する連絡先)

〒103-0012

東京都中央区日本橋堀留町2-3-5 グランドメゾン日本橋堀留101

公益社団法人 全国消費生活相談員協会 消費者団体訴訟室

TEL:03-5614-0543 FAX:03-5614-0743